

地域の多職種連携を土台とした コロナ対策の試み

第16回在宅医療推進フォーラム

ブロックフォーラム

医療法人はちのへファミリークリニック 理事長 小倉和也

小倉和也 おぐらかずなり

国際基督教大学教養学部卒業

琉球大学医学部医学科卒業

医療法人社団カレスアライアンス日鋼記念病院初期研修修了

医療法人北海道家庭医療学センター家庭医療学シニアレジデント修了

医療法人社団弓削メディカルクリニック常勤医を経て現職

- 医療法人 はちのへファミリークリニック 理事長
- NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 会長
- NPO法人Reconnect 理事長
- 日本在宅ケアアライアンス 理事
- 全国在宅療養支援医協会 代議員
- 日本在宅医療連合学会 評議員
- 八戸地区介護保険事業者協会 会長
- 八戸市医師会 理事
- 日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医
- 認知症サポート医

著書:

・スーパー総合医

「コモンディジーズ診療指針」

中山書店 2016(共同執筆)

・総合診療専門医シリーズ

「総合診療専門医のためのワークブック」

中山書店 2017(共同執筆)

・「在宅医療マネジメントQ&A【電子版付き】疾患
管理・運営・法的問題まですべてわかる」

日本医事新報社 2018 (共同執筆)

訳書:

・国際治療ハンドブック

エルゼビア・ジャパン 2006 (共訳)

・テイラー家庭医療実践マニュアル

医歯薬出版 2006 (共訳)

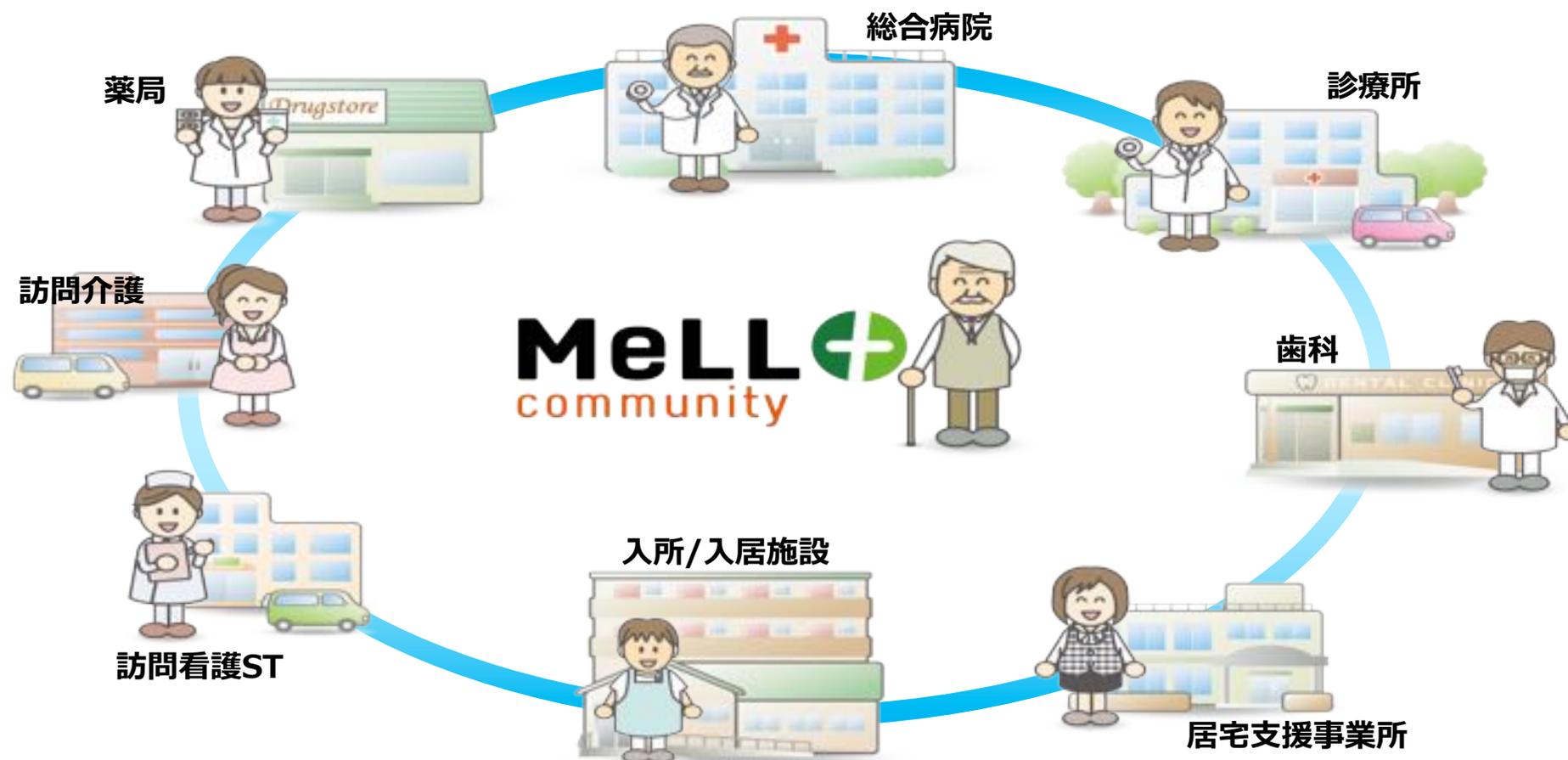


人口約23万人、医療圏人口約35万人の中核市 三つの拠点病院などが指定医療機関

「connect8（コネクトエイト）」

八戸地域にお住まいの方が安心して医療や介護を受けられる環境を目指し、病院や薬局、介護施設などが連携して作るコミュニティチームです。

* コミュニティチーム内の情報連携で「MeLL+community」を使用しています。



ログイン画面



ログイン

施設ID

スタッフID

パスワード

ログイン

[ログイン情報を忘れた方はこちら](#)

- ① 施設ID
- ② スタッフID
- ③ パスワードを入力し、
ログイン

患者情報共有画面（患者別）



The screenshot shows a web interface for patient information sharing. At the top, there is a navigation bar with icons for home, user, mail, calendar, and search. Below this, the patient's name and birth date are displayed: **【DEMO】八戸 太郎** (Male, 50 years old, 2 months, born September 1, 2020). A callout box points to this information with the text "患者氏名／生年月日".

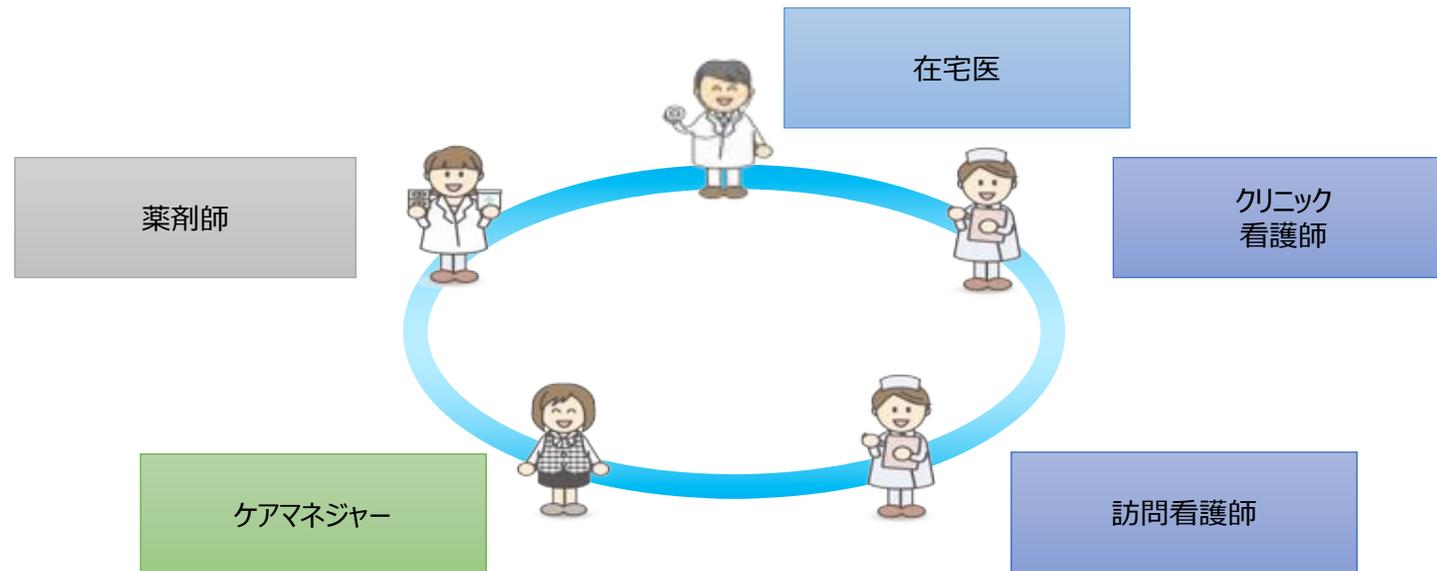
The main content area is titled "特記事項 アレルギー歴・副作用歴" (Special Notes Allergy History - Side Effect History). It contains the following text:
主治医：はちのへファミリークリニック 小倉先生
ケア社：八戸市医師会在宅介護支援センター 谷川さん
病名：胃癌末期・肝メタ
連絡先：八戸花子（妻）090-0000-0000
八戸小太郎（長男）関東の大学080-0000-0000
備考：ポート増設、PTEG、フェントニブ 1mg
バルーンカテ14Fr
A callout box points to this section with the text "特記事項".

Below the special notes, there are tabs for "コメント" (Comments), "関連文書" (Related Documents), and "個人メモ" (Personal Memo). The "コメント" tab is active, showing a list of comments. The first comment is dated "平成27年09月16日 水曜日" (September 16, 2015, Wednesday) and is from "研修 J太郎" (Trainee J. Taro). The comment text is "明日、カンファレンスです。" (Tomorrow, conference). A callout box points to this comment with the text "申し送り内容".

The second comment is from "研修 日太郎" (Trainee N. Taro) and says "熱がでています。" (Fever is present).

実際の活用事例（医療介護SNS）

薬局・ケアマネジャーとの連携 79歳 女性



- ・小児麻痺・高血圧・喘息・認知症で独居の方。ご家族が遠方で通院も困難なため訪問診療となったが、薬の管理も困難。訪問薬剤管理指導として丁寧な指導をいただき状態が落ち着いたケース。
- ・その後せん妄を起こした際も訪問看護・ケアマネと連携し迅速な対応で無事落ち着いて施設入所。



「connect8」の参加事業所数

2015年

登録事業所数… **2**

- ・訪問看護ステーション… 1
- ・診療所… 1



2020/10現在

登録事業所数… **256**

スタッフ… **1183**

- ・病院/診療所/歯科
- ・訪問看護ステーション
- ・薬局
- ・居宅介護支援事業所/在宅介護支援センター
- ・ホームホスピス
- ・介護施設
- ・訪問・通所リハビリ
- ・訪問介護
- ・訪問入浴
- ・通所介護
- ・その他



平成30年度から在宅医療・介護連携推進事業としてNPO法人Reconnectが受託

Exploring the structure of social media application-based information-sharing clinical networks in a community in Japan using a social network analysis approach

Junji Haruta ,^{1,2} Sho Tsugawa,³ Kazunari Ogura⁴

To cite: Haruta J, Tsugawa S, Ogura K. Exploring the structure of social media application-based information-sharing clinical networks in a community in Japan using a social network analysis

ABSTRACT

Objective Currently, use of social networking services (SNSs) for interprofessional collaboration is increasing. However, few studies have reported on virtual interprofessional interactions in community healthcare services. Revealing such structural characteristics of the

Key points

- ▶ Question: To pave the way for smoother collaboration in a community based on multiprofessional network structures, this study aims to reveal the structure of social networking ser

平成28年2月25日

財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
理事長 住野 勇 殿

2014(平成26)年度(後期)一般公募在宅医療研究への助成
完了報告書

研究テーマ：

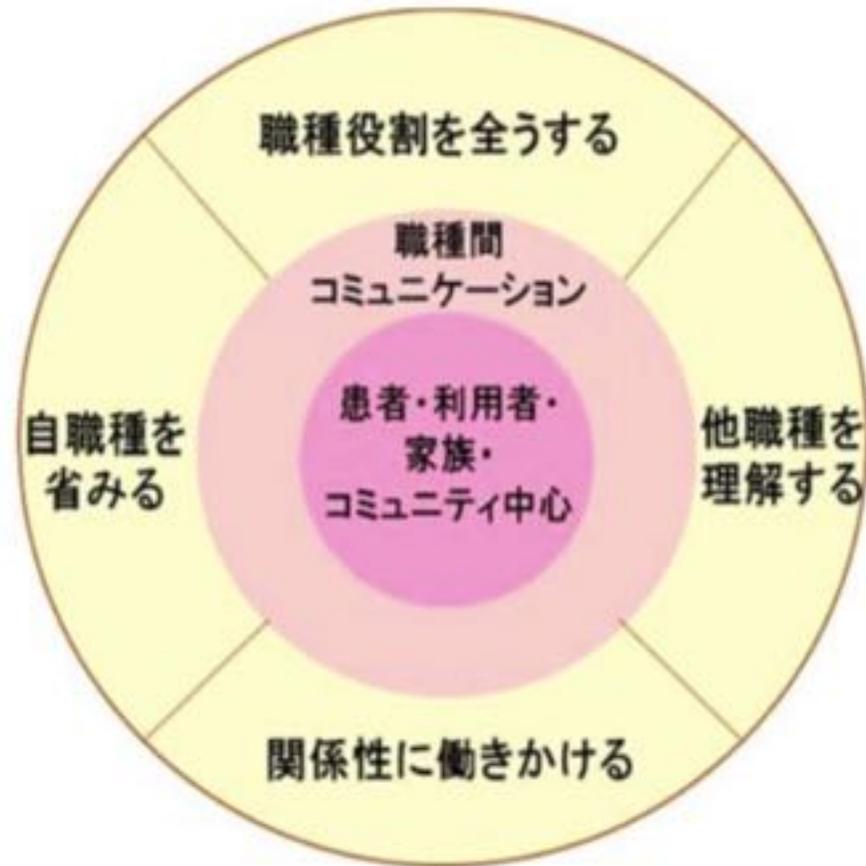
施設での看取りに関する手引き及び研修が
介護職員の心理に与える影響についての研究

地域でできる在宅医療と看取り研修

(青森県の委託で八戸市医師会主催 講師:NPO法人Reoconnect)



協働的能力としての多職種連携コンピテンシーモデル



多職種連携のころえ研修

2016年4月に医学、看護、理学療法、作業療法、言語聴覚、作業療法などの学際連携の専門的
実践をもとに多職種連携コンピテンシーの開発がなされました。詳しい内容については下記ページを
ご覧ください。

コンピテンシーを踏まえ、多職種連携コンピテンシーを研修でどのように活用し、行動を連携などの
ように実践していくかについてともに考えるワークショップを行います。多職種連携の
実践の一環として実施いたします。登録とお申し込みをお待ちしております。



2019.12.1(日) 10:00~15:30

会場 筑波大学 東京キャンパス文京校舎
〒112-8581 東京都文京区大塚3-29-1

講師 岸田 淳志(筑波大学臨床医科学 准教授)

協賛 小倉 和也(NPO法人 在宅ケアを支える医療者育成財団
ネットワーク 会長
NPO法人 Innoconnect 理事長)

定員 50名

参加費 無料

申し込み 11月20日(木)まで

申し込み 無料

ご参加いただける方は、以下の連絡先にご所属・職種・氏名をご
お知らせください。
innoconnect@huc.hi.hi.jp/NPO法人 Innoconnect
事務局についての案内を送付いたします。

お問い合わせ
NPO法人 Innoconnect(イノコネクト)
TEL/FAX 0178-72-1301 E-mail innoconnect@huc.hi.hi.jp

Figure4 : 多職種連携コンピテンシーの対象者 : 医療保健福祉に携わる職種



平時から訪問看護がスマートフォンでアクセスし
患者・家族・看護師・介護職員とテレビ通話
Doctor to Patient with Nurseのオンライン診療

普段からの多職種連携・ICT情報共有が基盤

急変時やコロナ流行・災害時に活用

ICT/オンライン診療を活用し
軽症者宿泊施設・指定医療機関と連携



聴診器に200年ぶりのイノベーションを！

デジタル聴診デバイス



ネクステートオンラインショップ









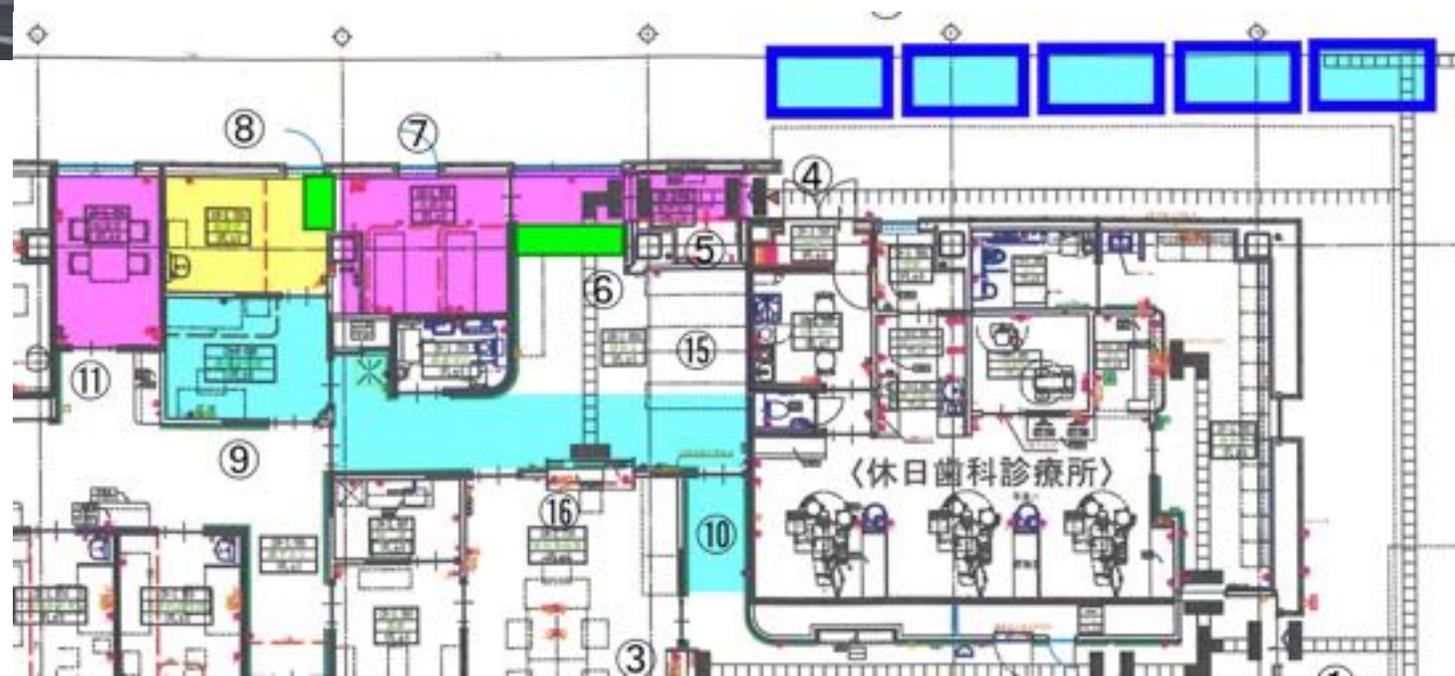
15分でインフル・コロナとも判定



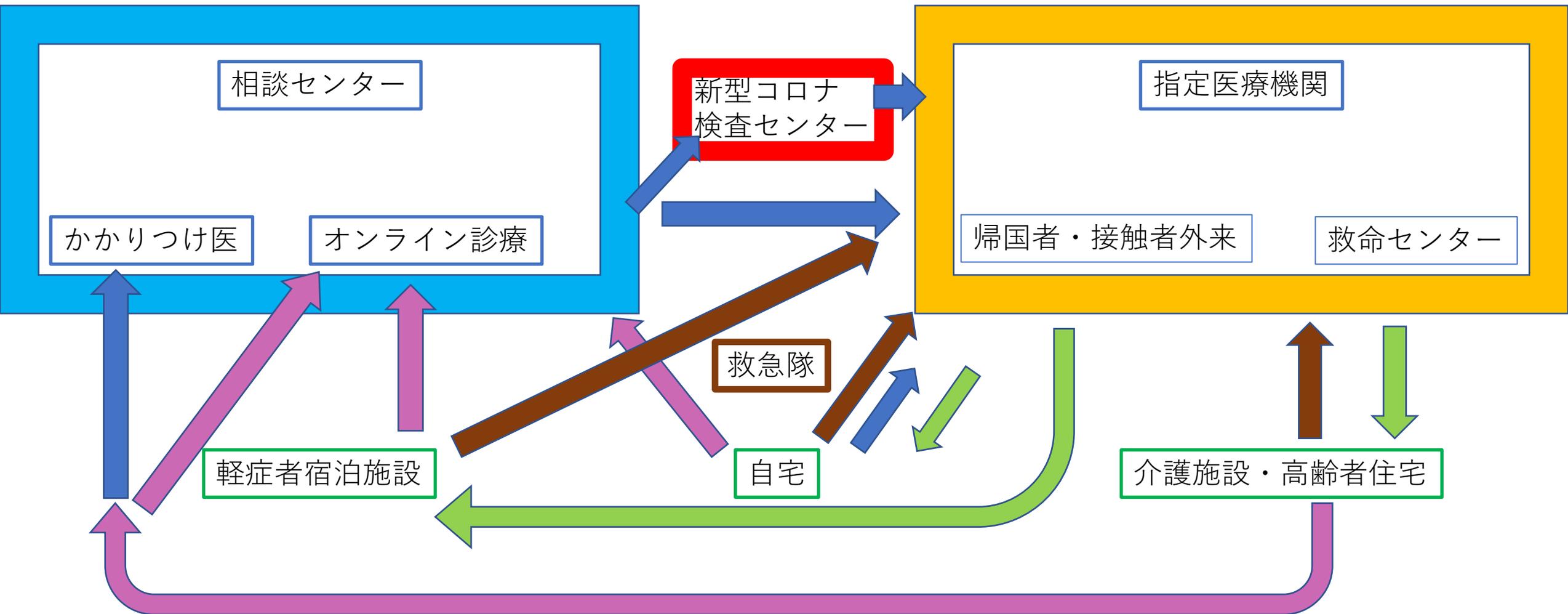
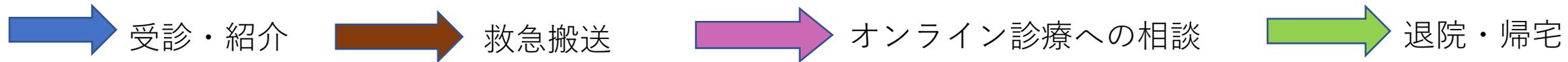
八戸市総合保健センター



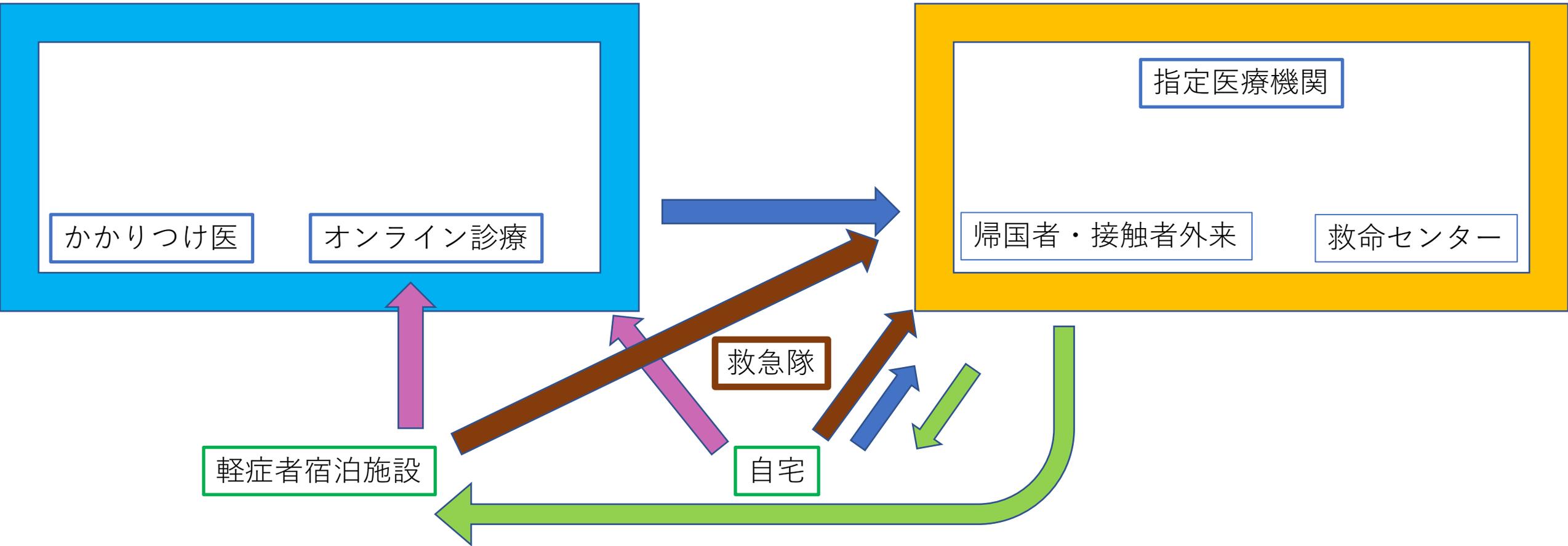
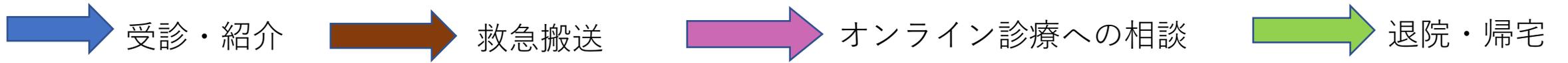
八戸市休日夜間診療所



八戸地域新型コロナ対策連携体制



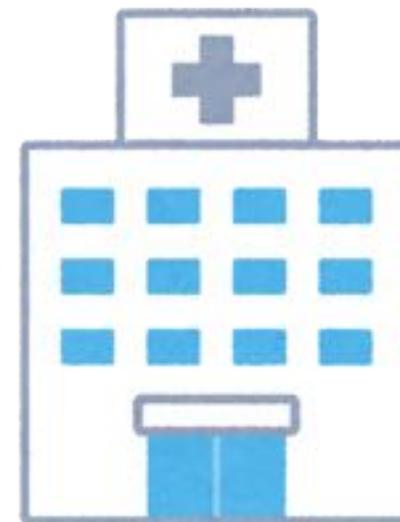
軽症者宿泊施設での連携フォロー



軽症者宿泊施設



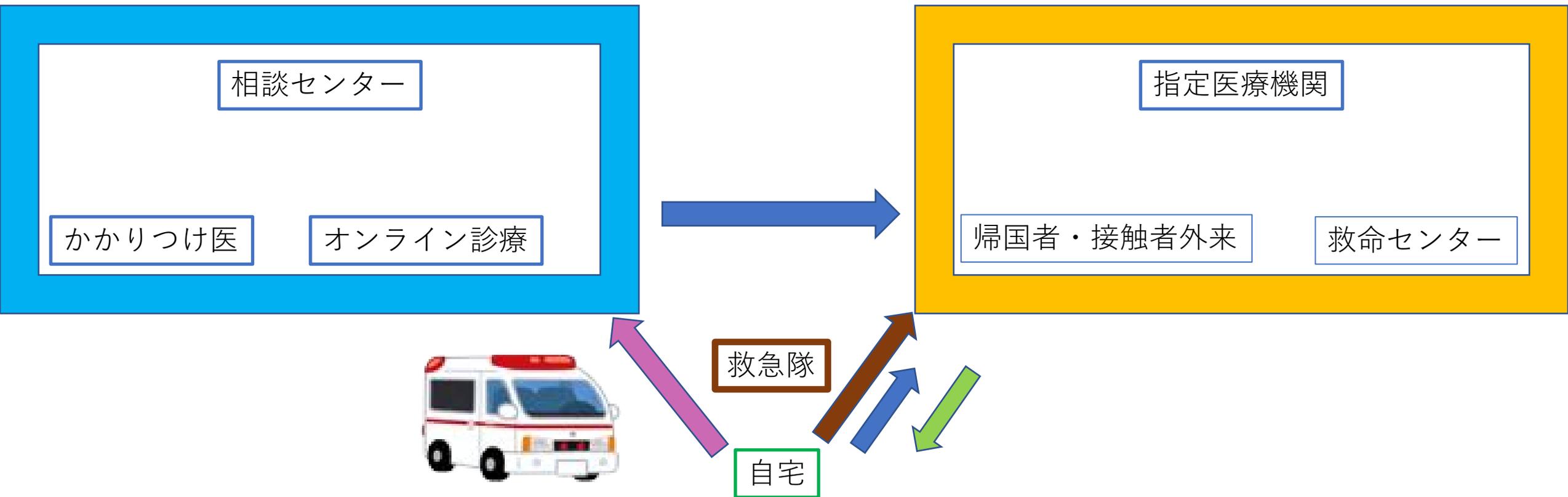
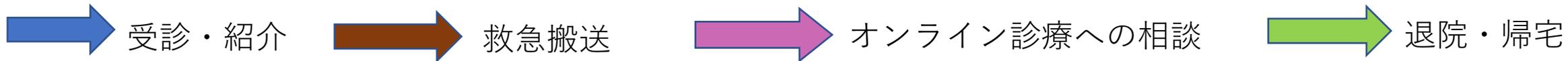
診所



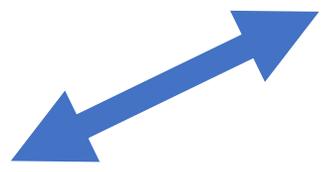
病院



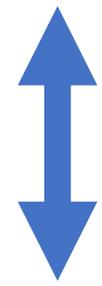
自宅療養者の連携フォロー



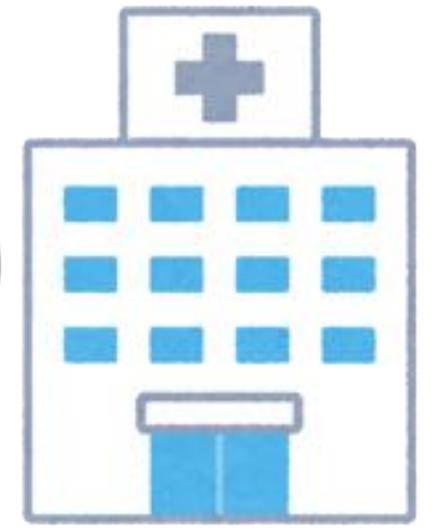
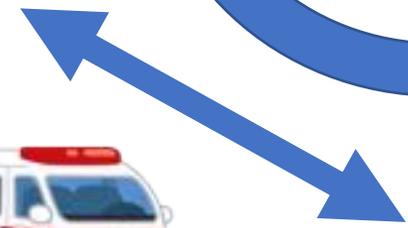
自宅



診所



病院



* 新型コロナウイルス対策 * 訪問看護ステーション連携協力システムについて

●訪問看護連携協力システムとは●

新型コロナウイルスの影響等で、訪問看護の現場で看護師が感染するなどして休業せざるを得ない事業所が発生した場合、訪問看護ステーションが連携し、別の事業所が代わりに看護師を派遣しサービス提供を維持するシステムです。

●訪問看護連携協力システム対象地域●

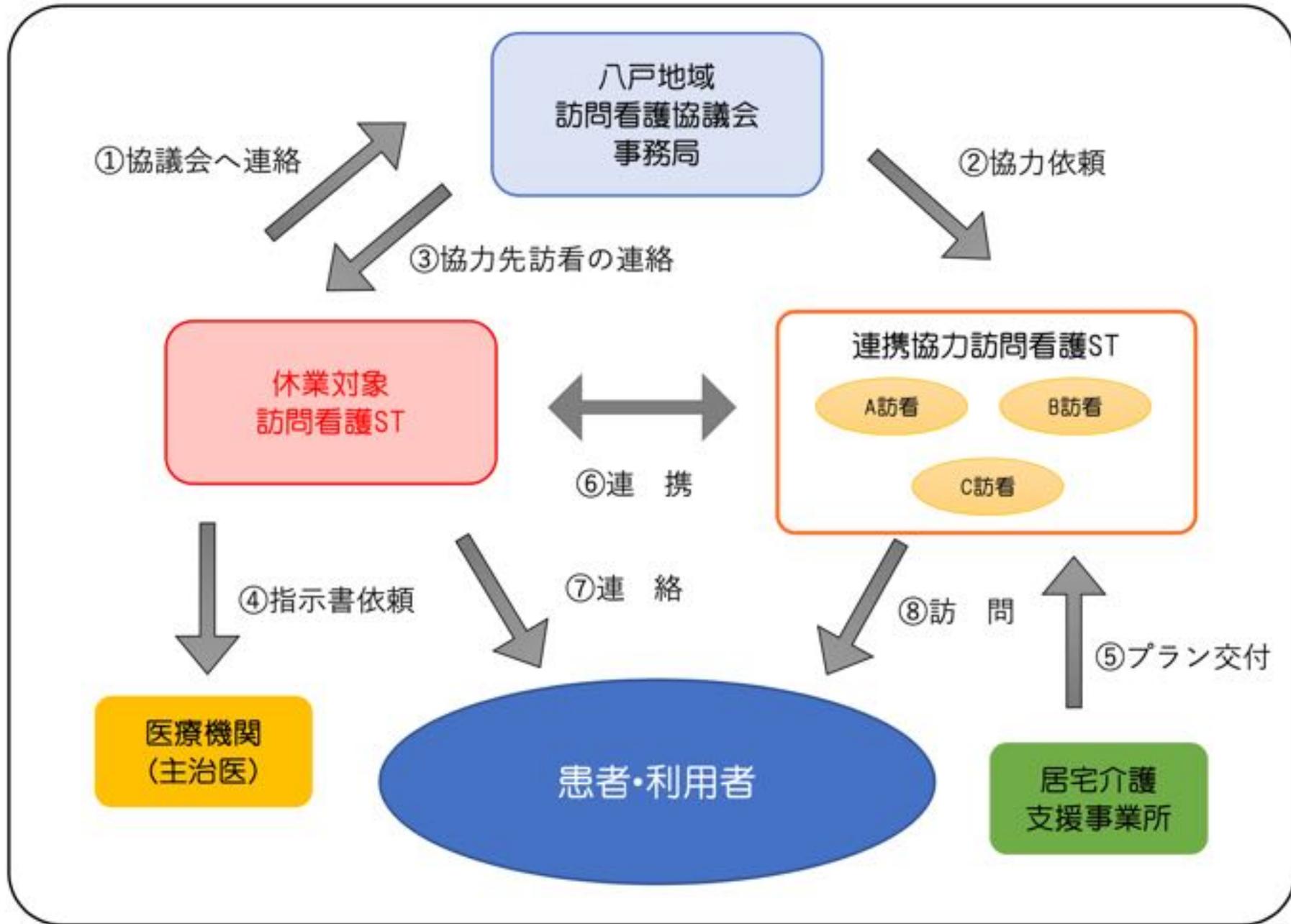
八戸地域の訪問看護ステーション

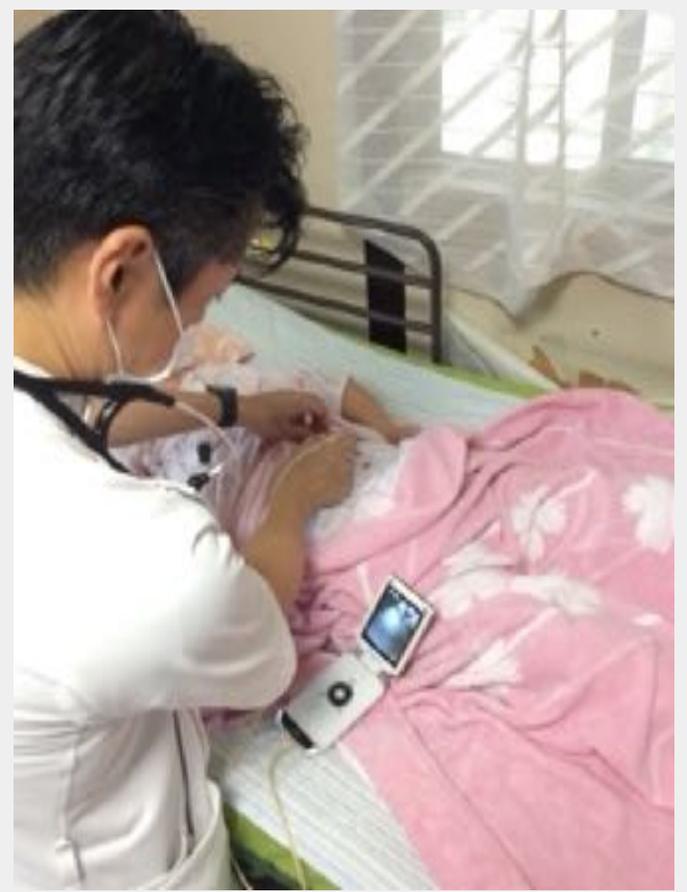
●訪問看護連携協力システムを利用するには●

○訪問看護連携協力ステーションの登録を行います。(別紙申込書にてお申し込み下さい)

○休業対象となった訪問看護ステーションは、八戸地域訪問看護協議会事務局へ連絡をし、看護師派遣依頼をします。

* 連携の流れ *







訪問看護ステーションにおける新型コロナウイルス対策 訪問看護ステーション連携協力システムについて

2020.10.24

医療法人はちのへファミリークリニック

NPO法人Reconnect

小倉和也

別に診療情報提供書を添付する際は別紙参照にチェック

ふりがな	電話	
氏名	生年月日	性別
住所		
病名	知方	<input type="checkbox"/> 別紙参照
既往歴	<input type="checkbox"/> 別紙参照	
傷病の経過 および 治療内容	<input type="checkbox"/> 別紙参照	

感染症・認知症などを疑う症状・既往の有無（新型コロナは医師会からの勧告がある時期のみ記載）

新型コロナ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ⇒ (詳細)
結核	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ⇒ (詳細)
疥癬	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ⇒ (詳細)
HSV	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
精神状態	<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 ⇒ ()
認知症高齢者の日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2
周辺症状の有無 (BPSD)	<input type="checkbox"/> 幻聴幻覚 <input type="checkbox"/> 妄想 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 暴言暴行 <input type="checkbox"/> 介護への抵抗 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 火の始末 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> 異食行動 <input type="checkbox"/> 性的問題行動 <input type="checkbox"/> その他 ⇒ ()

レントゲン検査を必要と認め過去六ヶ月以内に施行した場合は下記に所見を記載

胸部X線写真	<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接	撮影日 :
	<input type="checkbox"/> 特記すべき所見なし <input type="checkbox"/> 所見あり	

記入日 : _____
 医療機関住所 : 〒 _____
 医療機関名 : _____
 医師氏名 : _____

「人生の木（ツリーオブライフ）」というワーク（6月10日更新版）

Show all



それぞれが「何を大切に、どう生きたいか」を一緒に考えることがケアの質向上とACPにつながる

人生の木をつくろう

人生を一本の木にたとえてみましょう。

木は地中に根をはり、土から栄養をもらい幹を支えています。

幹からは枝が伸び、葉が茂り、実や花をつけます。

そして種ができ新しい命が生まれます。

このような命の循環や木の生命力は人の一生と重なるものではないでしょうか。

人生を振り返る

木の各部分には意味をもたせてあります。

表とイラストを参考に、①の根から⑧の空へ向かって順番にあなたの人生の木に入れたい言葉を思い浮かべてイラストの中に入れてください。

あなたの生活や人生にあった出来事、人との関係をゆっくりと思い出しながら進めてください。

途中で前の部分に戻って書き加えてもかまいません。家族と一緒に話し合いながら進めてもいいでしょう。また、もしよければ自分自身の木を描くところから始めてみてください。

きっと、より自分らしい木になると思います。

まとめ

- ・ 非常時の連携も平時の多職種連携・情報共有が基礎となる
- ・ 新型コロナ対策では、ICT/オンライン診療などを活用することで、最小のリスクで最大の効果をもつ体制の構築を目指すべき
- ・ コロナ渦においては地域包括ケア・地域共生社会への取り組みが試されるが、これを大きく進める機会でもあると考えたい

今を生きる世代と
これからの世代のために



ご清聴ありがとうございました。